

# 国際奉仕委員会

委員長 鏡原良則

副委員長 田中一一

世界的にコロナの広がりから全く海外との交流が止まって2年以上が経過します。ようやくここにきて、かすかながらコロナ禍での国際的な動きがはじめました。しかしながら、状況を見ながらの行動制限がまだまだ続きそうです。国際奉仕委員会としては、韓国・ドソルロータリークラブとの交流、および残念ながら軍事政権と化したミャンマーの小学校問題をはじめとして、今後考えてまいらなければならない問題がたくさんあります。近々ミャンマーとも連絡を取りましたが、今のところヤンゴンも落ち着きを取り戻し、特に経済は疲弊しているが、6月中頃からANAタイ経由でミャンマーに乗り入れが決まった様子にて、ヤンゴンにも足を運ぶことができそうです。できることなら今季にミャンマーを訪れて状況を確認したいと考えています。

韓国ドソルロータリークラブとの友好につきましては、韓国自体も先日の政権交代がかない日本との友好関係にも明かりがともり始め何かしらの前進がありそうで、相手先の連絡を待って何かしらの行動を起こせればと思っています。

これからはコロナ次第での活動になりますが、一日も早いコロナの終息を願うばかりです。アメリカニュージャージー州からの留学生短期交換も早期に回復することを願っています。

青少年奉仕委員会とも協力し、国際奉仕委員会も今後の活動を活発にしたいものです。